

利用促進事業実施中

JR 芸備線・木次線に乗ろう！

市民生活課市民生活係 ☎0824・73・1154

市は、本年度も芸備線・木次線の利用促進事業に取り組んでいます。10月22日から運行している快速列車「庄原ライナー」に合わせ、イベントの開催や沿線地域が行うさまざまな取り組みへの支援を行っています。今回は、11月までの取り組み状況について紹介します。

イベント・ツアー



庄原ライナーでゆく 芸備線3つの旅

(一社) 庄原観光推進機構による庄原ライナーを活用したツアーが実施されています。

本年度は「帝釈峡」「お通り」「三段式スイッチバック」の3つのコースが用意されました。

ツアーの予約状況も、すでに昨年度の予約数を上回っており、好評を得ています。



芸備線おもてなしイベント

10月22日、備後庄原駅周辺で芸備線おもてなしイベントとして、庄原駅周辺地区まちづくり協議会主催の「庄原駅前フェスタ」が開催され、約700人が来場しました。

同駅には、ハロウィーンをテーマにした飾り付けや鉄道模型が展示され来場者を出迎えたほか、手作り雑貨や食べ物、スイーツの販売が行われました。また、会場に設置されたステージでは、来年開業100周年を迎える同駅の記念ロゴマークの発表や、コンサートなどが行われました。



芸備線サイクルトレイン

11月12日、芸備線沿線4市(庄原市、広島市、安芸高田市、三次市)で構成する芸備線対策協議会が、芸備線と自転車を活用した初のサイクルイベントを開催しました。

芸備線の列車を利用して庄原を訪れた67人の参加者が、庄原から三次までの25キロと50キロの2コースを自転車で駆け抜けました。

50キロコースでは、団体臨時列車を運行し、参加者は自分のお気に入りの自転車を列車に乗せることができました。



地域の取り組み



七塚駅クリーンアップ大作戦

10月30日、七塚東区子ども会を中心とした東自治振興区の住民や、庄原格致高校の生徒が集まり、七塚駅周辺で環境整備を行いました。作業の後は、県立広島

大学庄原地域連携センター長の吉野智之さんが、芸備線や庄原市の魅力について紹介する「芸備線講座」が開催されました。



トレジャーハンター 芸備線の秘宝を探せ!

11月5日、庄原青年会議所の主催で、貸切列車を活用した「トレジャーハンター芸備線の秘宝を探せ!」が実施され、14組41人が参加しました。

参加者は、備後庄原駅・東城駅間を走る貸切列車に乗り込み、ガイドの解説などをヒントに「備後庄原駅は来年で何周年になるでしょう」「列車内から見える絶景の写真を送れ」といったミッションに挑戦しました。

また、備後落合駅では名物のおでんうどんが振る舞われたほか、東城の街並み散策・「お通り」で使われる母衣の試着を体験しました。

今回の貸切列車は、カーブ列車が利用され、初めて備後落合駅・東城駅間へ入線することとなりました。東城駅では、カーブ列車を一目見ようと多くの人が集まりました。



この他にも、芸備線・木次線の利用促進に向けた取り組みが実施されています。取り組みは、右のQRコードから確認できます。皆さんで協力し、芸備線・木次線を守りましょう!

芸備線・木次線
利用促進協議会
ホームページ

